

講師紹介<50音順>

上田剛士先生 洛和会丸太町病院 救急・総合診療科部長

2002年名古屋大学卒業。現在は京都市内の小さな病院で、全てを診られる医者になりたいという野望を持ちながら、救急・集中治療・内科病棟・外来・往診をすべて一括して診療するというスタイルで働いています。最大のパフォーマンスを引き出すには、適度な緊張と、思いっきり楽しむこと。職場の笑顔にも自信があります。たまには、苦笑いもありますが。

小淵岳恒先生 福井大学医学部附属病院 救急部講師兼医局長 (&大番頭)

2000年福井医科大学卒。5年一般消化器外科医として勤務後、寺澤教に入信。家族とERとハンドボールをこよなく愛する男、「ハンドボールバカ」といわれつつ夜勤明けでも練習に参加してます。自称初期研修医・後期研修医教育担当、自分も成長しながら愛情と熱意をもって教育してます！寺澤先生とはじめた企画を引継ぎ、「明日から使える！」をキーワードに日々面白くてためになる症例をERアップデートのために集めては仕事をしています。今回もたくさんの症例を準備しております、みんなで楽しみながら知識をアップデートしましょう♪

今 明秀先生 八戸市立市民病院 CEO

1983年自治医科大学卒業。僻地医療を5年、外科医師を8年行なった。1998年日本医大救急医学教室へ入局、川口市立医療センター救命救急センターへ赴任する。外傷外科医と救急医の修練が始まった。2004年より青森県で救急発展途上地域の開発に挑む。三次救急集中治療とERを両立できる救急医を養成してきた。研修医教育と、救急医育成に力を入れる。2017年より病院の舵取りを任せられた。



坂本 壮先生 総合病院国保旭中央病院 救急救命科医長兼臨床研修副センター長

2008年順天堂大学卒。順天堂大学練馬病院救急・集中治療科で救急・集中治療の基礎を学びつつ、西伊豆健育会病院で内科外来、訪問診療にも従事。好きな言葉は“No Passion, No Education!”全国の研修医と共に熱く学び、刺激をもらいながら自身のモチベーションを維持しています。さあみなさん、ファンタスティックER医を目指して共に学びましょう！

志水太郎先生 獨協医科大学 総合診療医学・総合診療科 主任教授・診療部長

3浪して何とか医者になったものの、その先には数々の挫折と現場での地を這うような修羅の日々が待っていました。総診業界の挫折王決定戦ではきっと決勝まで残れる自信がある僕ですが、その挫折は全て自分の栄養となって、こうしてERアップデートで後輩の皆さんに様々なメッセージを送れる特典で帰ってきました。貴重な休みを使ってご参加下さる皆さんにお役に立てるよう、一生懸命頑張ります。

林 寛之先生 福井大学医学部附属病院 救急科総合診療部教授 / GGGセンター長

笑いが絶えない救急総合診療を目指してます。緻密にエビデンスに基づいた診断治療をするのは勿論、患者さんの気持ちを大切にできる共感力の高い医師を目指そう。愛と希望と汗と笑いの後期研修医募集中！海外留学も夢じゃない！合言葉は“Think globally, act locally!”。カナダ医師免許と育児休暇取得が自慢。レジデントノートの連載に目を擦りつつ、体力の限界に挑戦中セミナー後は「できる医師」に変身させちゃいます。USJも近いし、勉強に恋に遊びに大いに楽しみましょう！勉強のみならず、USJで脚力も鍛えられるなんてステキじゃない？今回も最強の講師陣でお待ちしております！講師と近い関係を持てるのがこのセミナーの良い所！どんどん話しかけてね！

箕輪良行先生 みさと健和病院 救急総合診療研修顧問

1979年に自治医大を卒業した未熟な医者はUSもCTも、そしてEBMもない時代に三宅島の診療所で心電図だけで働いたのが始まりでした。Hx, PEだけで病気に向き合うのが習性となり救急、総合診療へと行きつきました。AIが診療をサポートするのが現実となり10年もすれば孫世代が医者になるような時代。短期記憶が劣化して読書スピードを上げないと文脈がつかない不安を感じています。